

パワーポイントで地図作成

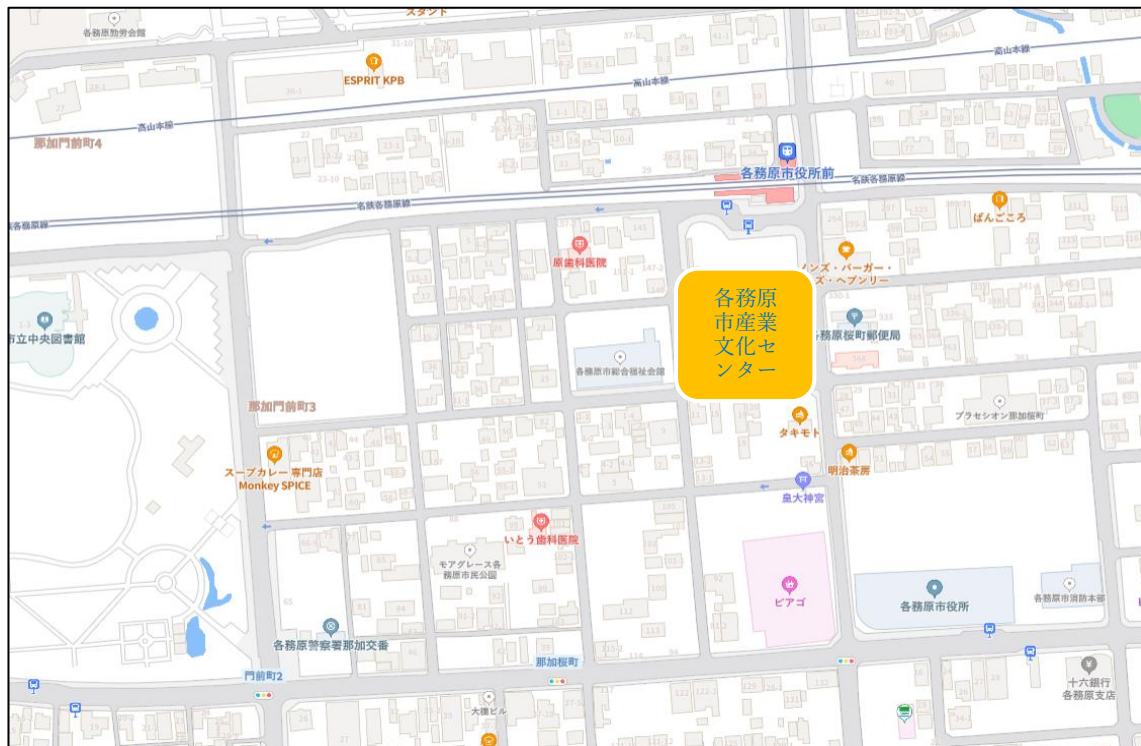
PC で地図を作成する方法はいろいろありますが、一度作成した地図を使い回した場合には、Office ソフトのパワーポイントを使って作成するのがお勧めです。ここでは、パワーポイントを使って地図を作成し、画像として保存しておき、その後、Word で別に作成したイベント案内状の文書に、保存しておいた地図を貼り付けて案内状を完成させます。

1 事前準備作業

(1) 実際の地図を準備する

自分がPCで描きたい地図をインターネットで検索して入手します。

ここでは、Google マップから、「各務原市産業文化センター」周辺の地図を印刷して準備します。



(2) 地図の建物や場所の目印にするイラストをインターネットの無料サイトからダウンロードして手元に準備します。

ここでは、だれでも無料で自由にダウンロードして利用できる「いらすとや」のサイトを利用します。



<https://www.irasutoya.com>

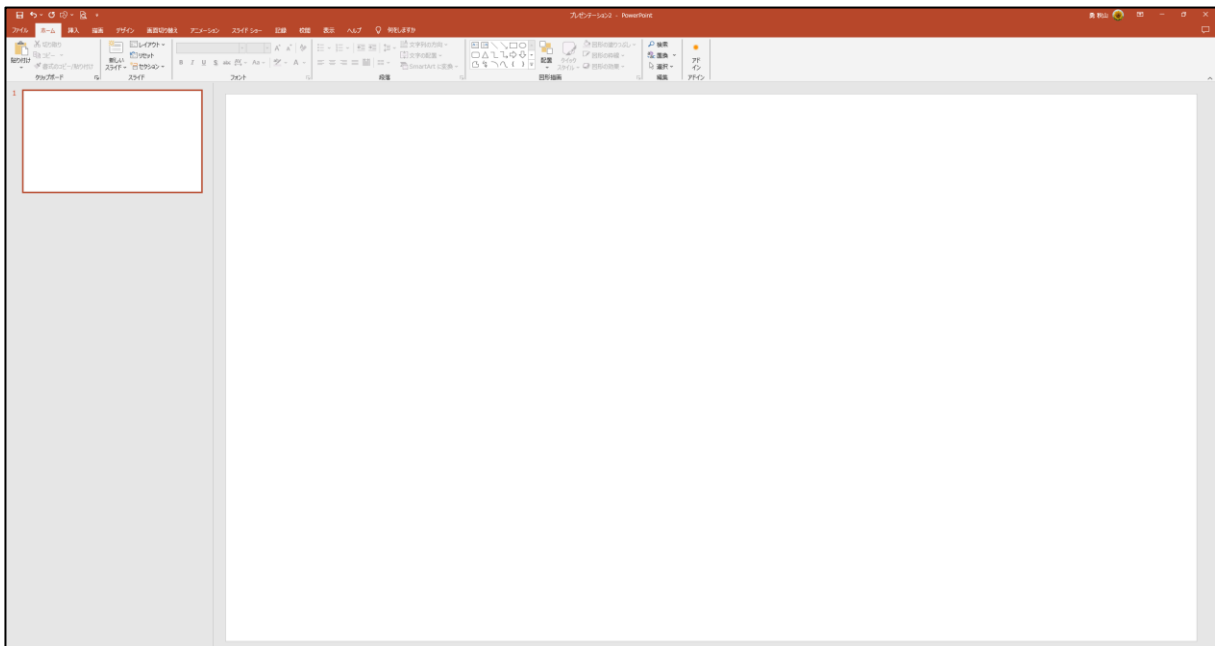


2 パワーポイントで地図を描く

(1) パワーポイントのスライドを準備する

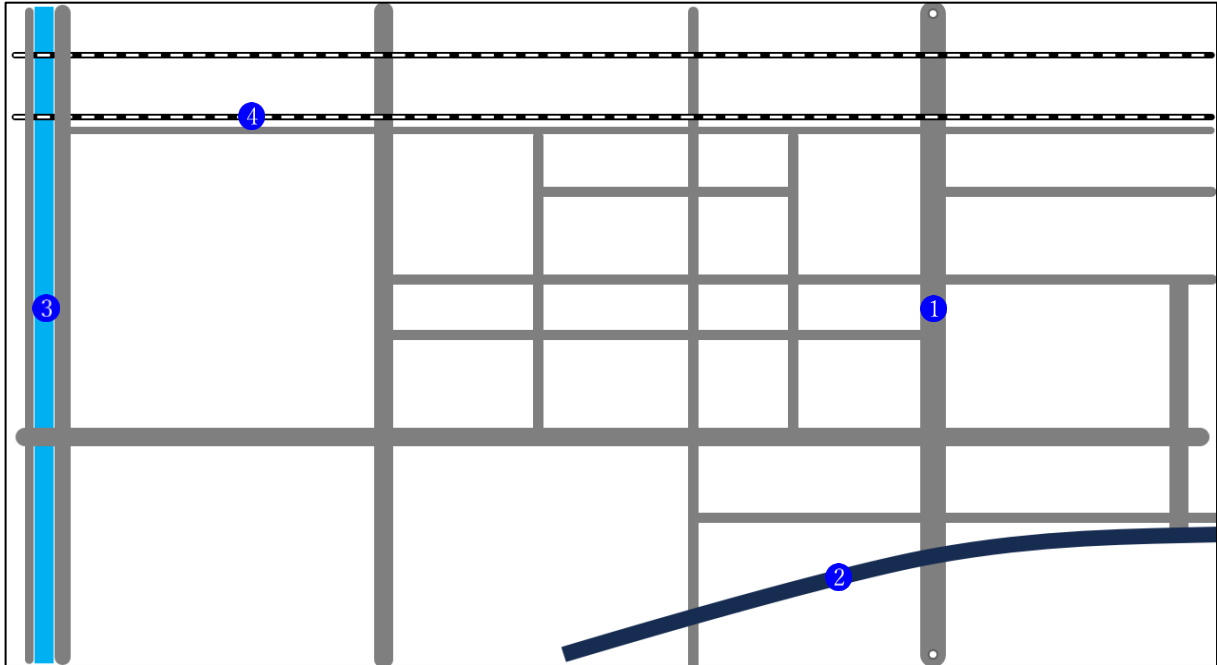
パワーポイントを起動し、最初に表示されるスライドのレイアウトを[白紙]に変更します。

この白紙のスライドの最大の大きさに地図を作成していきます。



(2) スライドに道路と川を描く

実際の地図を参考にして、スライドの枠の中に、地図の基本となる道路、川、鉄道の線路を描きます。道路は、実際の地図をできるだけ簡略化し、拠点となる地点から視覚的に辿りやすいように太さや色を考えて描くようにします。



① 道路を描く

基本となる道路を1本描いたら、後はその道路をコピーし、太さを変えたり回転させたりしながら形を整え、所定の場所に配置します。

基本となる道路①は、図形の[線]を使って描きます。

- ・色 黒、テキスト1、白+基本色50% ①
- ・幅 20pt ②
- ・線の先端 丸 ③

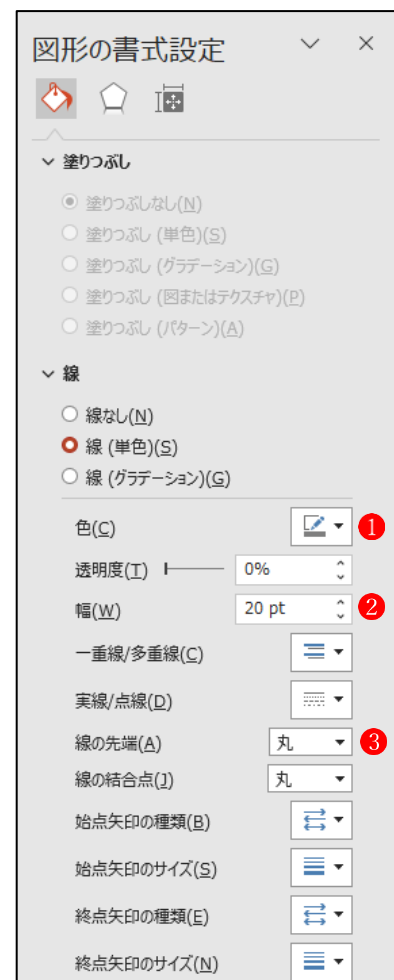
曲がっている道路②は、図形の[曲線]を使って描きます。

- ・色 青、テキスト1、黒+基本色50%
- ・幅 13pt
- ・線の先端 丸

② 川を描く③

基本となる道路をコピーし、所定の場所に配置します。

- ・色：薄い青
- ・幅：15pt
- ・線の先端 丸



(3) スライドに線路を描く ④

図形の[線]を2本使って線路を1本描き、後はその線路をコピーし、それぞれ所定の位置に配置します。(※見えやすくするため、線の背景に薄い緑色を配置しています。)

- ① 図形の[線]を使って黒い線を1本引きます。

色：黒 幅：5pt 線種：実線 線の先端：丸 ①



- ② この線を複製し、次の通り編集します。

色：白 幅：2.5pt 線種：破線 線の先端：丸 ②



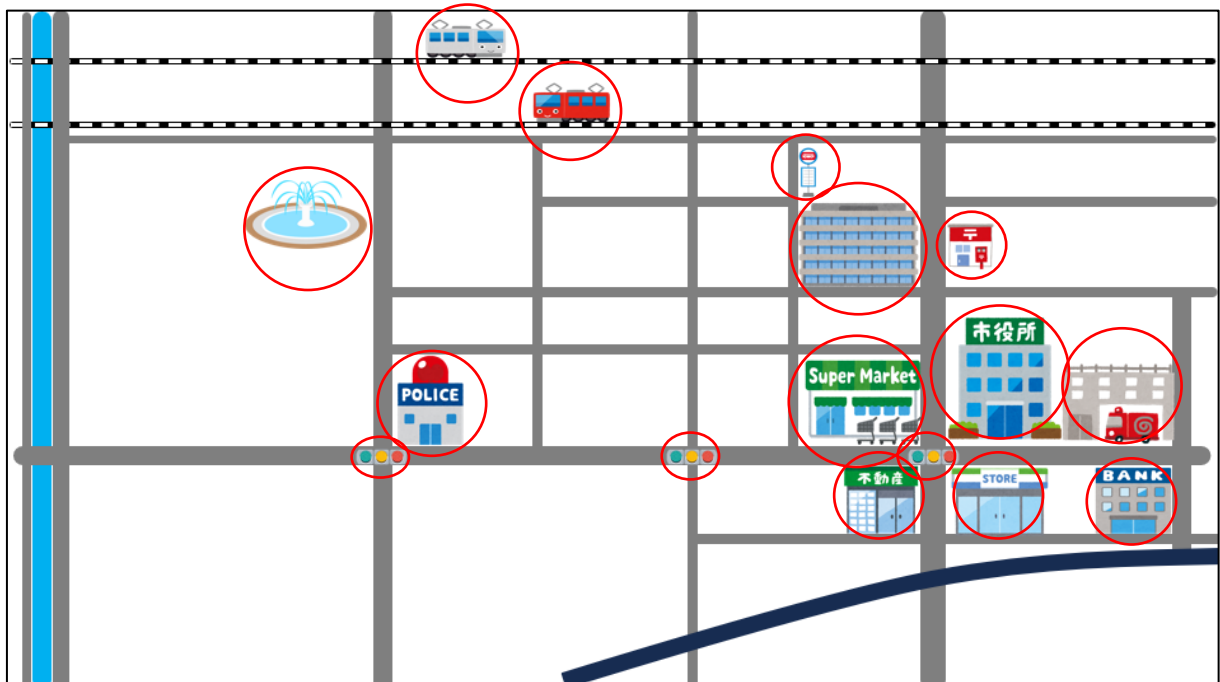
- ③ ①の線の上に②の線をぴったり重ね合わせます。

さらに、線路らしく見えるように線の幅や位置を微調整します。

最後に2本の線をグループ化すれば線路の完成です。③



(4) スライドにインターネットの無料サイトから用意したイラストを配置します。



(5) その他のパーツを作成して配置する

図形を使って、用意したイラストにはない [中央図書館]、[公園]等のイラストを作成して配置します。



① 中央図書館 ①

- ・挿入→アイコン→建物→図書館らしきイラストを選択し、スライドに挿入します。
- ・挿入したイラストを縮小し、形を整えます。
- ・アイコンを選択→グラフィックス形式→[図形に変換]
- ・アイコンは図形に変換され、元のアイコンのパーツ別に色や形を変えることができます。
[図形のスタイル]から屋根部分と本体部分を適当なスタイルに変更します。
- ・横書きテキストボックスを挿入し、「中央図書館」と入力、フォント、フォントサイズ等を調整します。

② 市民公園 ②

- ・図形の[台形]を使って大小2つの台形を重ねます。
- ・内側の台形を右クリックして、[テキストの編集]で「市民公園」と入力、フォント、フォントサイズ等を調整します。

③ 芝生 ③

- ・図形の[正方形/長方形]を使って芝生の形を描き、[塗りつぶし]の色を[薄い緑]に設定します。
- ・図形を選択した状態で右クリックし、[最背面へ移動]を選択します。
→これで芝生、中央図書館、噴水、市民公園が一体化しました

④ 公園駐車場 ④

- ・図形の[正方形/長方形]を使って駐車場の形を描き、[塗りつぶし]の色を[薄い緑]に設定します。
- ・図形を右クリックし、[テキストの編集]で「公園駐車場」と入力します。

⑤ 会場案内の吹き出し⑤

- ・ 図形→[吹き出し]→[角を丸めた四角形]を使って会場案内の吹き出しを作成します。
- ・ 図形を右クリックして、[テキストの編集]で「会場はここ！」と入力、フォント、フォントサイズ等を調整します。
- ・ 図形を選択して、[図形の書式]から、[図形の塗りつぶし]の色を[オレンジ]に設定、[図形の効果]で影を[内側：右]に設定します。(※[影のオプション]から、影に黒以外の色を設定することもできます。)

⑥ 産業文化センターの表示⑥

- ・ 図形の[四角形／長方形]を使って、ビルのイラストの上に四角形を描き、[図形の塗りつぶし]の色を[オレンジ]に設定します。
- ・ 図形を右クリックして、[テキストの編集]で「産業文化センター」と入力、フォント、フォントサイズ等を調整します。

⑦ バス発着場⑦

- ・ 図形の[四角形：角を丸くする]を使って、バス発着場を描き、[図形の塗りつぶし]の色を[薄い灰色：背景 2]に設定します。
- ・ 図形を右クリックし、[テキストの編集]で「ふれあいバス発着場」と入力、フォント、フォントサイズ等を調整します。

⑧ 自衛隊基地（飛行場）⑧

- ・ 図形の[フリーフォーム：図形]を使って、自衛隊基地（飛行場）を描き、[図形の塗りつぶし]の色を[薄い緑]に設定します。
- ・ 横書きテキストボックスを挿入し、「航空自衛隊岐阜基地」と入力、フォント、フォントサイズ等を調整します。

(6) 各種案内表示

最後に、[鉄道の駅名]、[道路名]、[方面案内]などを所定の場所に作成します。

- ① 駅名は、図形の[正方形／長方形]を使って作成し、図形の[テキストの編集]でテキストを入力します。
 - ・ 鉄道の駅（各務原市役所前・市民公園前）
- ② 鉄道路線名と道路名は、[横書き（縦書き）テキストボックス]を使って入力します。
 - ・ 鉄道路線名（JR 高山本線・名鉄各務原線）
 - ・ 道路名（飛行場通り・さくら通り・旧中山道・国道 2 1 号線）
- ③ 方面案内は、図形の[矢印：右・左]を使って作成し、図形の[テキストの編集]でテキストを入力します。
 - ・ 鉄道路線（岐阜方面・高山方面・犬山方面）
 - ・ 道路方面（岐阜方面・国道 2 1 号線に合流）

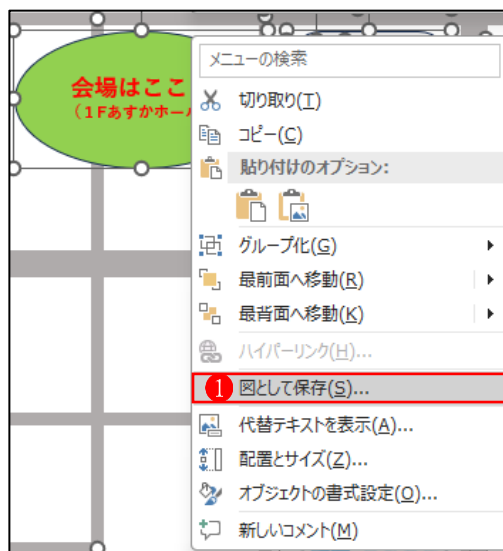
以上で、会場案内用の地図が完成しました。
スライドは名前を付けて保存しておきます。

3 スライドを図として保存する

スライドに作成した地図は、後で使い回しができるように、[図として保存]しておきます。

(1) スライドの地図を PNG 画像として保存する

- ① スライドのすべてのオブジェクトを選択状態・(Ctrl+A) にして、いずれかのオブジェクトの上で右クリック→メニューから[図として保存]①をクリックします。
- ② 保存先のフォルダーを指定して、PNG ファイルとして名前を付けて保存します。



(2) スライドの地図を JPG 画像として保存する

- ① 上記と同じ
- ② 保存先のフォルダーを指定して、JPG ファイルとして名前を付けて保存します。

4 Word の文書に地図を貼り付けて活用

Word の文書に、会場案内用の地図として、PNG ファイルまたは JPG ファイルの地図を貼り付けて案内文書を完成させます。

(1) Word 文書に地図を挿入する方法

[挿入]→[画像]→[このデバイスから]をクリックし、ファイルを保存してあるフォルダーか [PNG 画像] を選択し、[挿入] をクリックします。→Word の文書に地図が挿入されます。

(2) Word の文書に [PNG 画像] を挿入した場合と [JPG 画像] を挿入した場合の相違点

上記の相違点は、

- ① [JPG 画像] で挿入した場合は、地図の白い部分は白いまま（透明にはならない）なので、下地（背景の色や写真など）は上に被った地図でおおわれて完全に見えなくなります。
- ② [PNG 画像] で挿入した場合は、地図の白い部分は透明になるので、下地（背景の色や写真など）が透き通って見えます。

JPG 画像と PNG 画像の違い

JPG 画像



PNG 画像

